

## 比例は日本共産党 大平候補 作州路を駆ける 広がる共産党への支持と共感 さあ議席奪還へ

8月24日と25日、大平喜信衆院中国比例予定候補は、岡山県北の作州路・真庭市と津山市を駆け回りました。「大平ツイッター」からその奮闘ぶりを紹介します。



8月24日朝、真庭市をスタートし、津山市へ。どちらも党と後援会の決起集会。横浜市

市長選挙の勝利でますます元気に、菅政権の無策ぶり、無責任ぶりにますます怒りが広がっている。共産党への期待の声を確実に比例票につなげよう。今こそ

対話をし「支持を広げて」と声をかけよう。みんなで意思を熱く固めあった。(写真右)

8月25日は津山市で雇用と地域経済の動向、コロナ禍の業者の実態を聞き取り。まずは商工会議所を訪問し西山公ニ専務理事と懇談。

続いて、岡山県タクシー協会の下山武紀副会長とも懇談。(写真左)「コロナ禍で観光バスが大打撃、再びの感染拡大で今も毎日のようにキャンセルの電話がかかってくる」「政策金融公庫から借金をしているが先行きが見えず返済が心配でならない。倒産はまさにこれから増えていくと思う」と苦境を吐露された。

大平さんは、こうした地域の声を受け止め国政に届けることを約束しました。

## 教職員後援会、生協労働者後援会 オンライン交流会開催

8月28日夜、生協労働者と教職員の二つの分野の「中国ブロック・タテ線後援会のオンライン交流会」が開催されました。

どちらも、職場の実態や後援会の取り組みが紹介されるとともに、大平さん・すみよりさんが活動を報告、比例議席奪還の決意表明を行いました。

また、教職員後援会では、大平さんが衆院文科委員会で「給付型奨学金の実現」などの課題を取り上げた論戦を紹介。参加者から「ぜひ国会へ」の決意が語られました。



### すみよりさん SNSカードを配って登録者を拡大

ブロック作成の「SNSカード」の活用が進んでいます。すみより聡美比例予定候補は、宣伝や「折り入って作戦」の中で、この間450枚配布し、SNSへの登録者を広げています。すみよりさんは「SNSが出来ない人には、出来る人に頼んで」と広がっています。